

2 平成29年度鹿角地域振興局地域施策推進方針

- 平成23年度より、地域振興局が主体的に地域振興と課題解決にあたるため、「地域施策推進方針」を策定し、これに基づく予算措置を行っている。

平成29年度鹿角地域振興局の施策推進方針

【目指す姿】 十和田八幡平国立公園を核とした魅力と活気にあふれる「ブランド観光地」の再生

【現状と課題Ⅰ】

1 入込観光客数は東日本大震災後の低迷から脱却しきれておらず、ほぼ横ばい状況となっている。優良観光地としての復活を目指し、環境省による国立公園満喫プロジェクトの実施と合わせて、効果的な誘客が図られるよう、青森県、岩手県とも連携し、戦略的に事業を展開していく必要がある。

2 鹿角地域の教育旅行受入については、函館市、札幌市及びそれら周辺地域から大半を占めているが、北海道新幹線の開業により北海道内の学校の教育旅行行程に変化が生じてきていることから、既存来訪校の確保と、新規来訪校の獲得を目指し、他地域に負けない誘致活動を積極的に展開していく必要がある。

3 国では外国からの誘客について、2020年までに倍増させる計画で取り組んでおり、鹿角地域においても今後の伸びが期待されることから、地域での観光資源のブラッシュアップと受入態勢の整備を早急に進める必要がある。

プロジェクトⅠ「 十和田八幡平国立公園ブランド化に合わせた魅力アップ 」

【拡】取組1 十和田八幡平国立公園を核とした広域観光の推進

- 青森県・岩手県との連携・協力関係をベースとした広域観光誘客活動の展開
- 多彩な県外イベント等での触れ合いを通じた地域観光資源の魅力アピール
- “温泉”や“食”など「地域ならではの」優良コンテンツを核にした効果的な情報発信

【拡】取組2 ターゲットを絞った教育旅行の誘致

- 重点地域に設定する北海道(道南地区・道央地区)に対する集中的な誘致キャラバンの実施
- 地域の教育旅行素材の洗い直しとブラッシュアップ
- 学習面で訴求力がある地域素材で構成するモデルコース提案

【新】取組3 地域資源のブラッシュアップと受入態勢の整備

- 地域資源体験会での評価を活かした地域資源のブラッシュアップ
- 十和田湖Wi-Fi環境整備後の活用推進
- 観光業や飲食店従業員を対象とした語学研修の実施
- 飲食店メニューや店内案内等の多言語表記サポート

【市町村や各種団体等との協働】

鹿角市、小坂町、大館市、青森県、十和田市、岩手県、八幡平市、株式会社かつの観光物産公社、十和田八幡平観光物産協会、小坂まちづくり株式会社、一般社団法人秋田県観光連盟、東日本高速道路株式会社、一般社団法人秋田犬ツーリズム

【本庁との連携・一体的な実施】

観光振興課、あきたびじょん室、広報広聴課

【見込まれる効果】

1 国立公園満喫プロジェクトでのナショナルパーク“ブランド”化に向けた取組との相乗効果で、観光客の十和田八幡平国立公園及び周辺地域への訪問意欲が喚起され、活気あふれる観光地として新たな賑わいが創出される。

2 函館市・札幌市を中心とする道南・道央エリアで、教育旅行先としての鹿角地域の認知度が高まり、来訪校が増加する。

3 十和田八幡平地域の観光事業者に観光の受入態勢強化の意識が高まり、外国人観光客にとっての魅力も高まることによる需要増により、地域全体の観光関連ビジネスが活性化される。

【目指す姿】 鹿角の“食”ブランドの定着と販路拡大による地域産業の成長

【現状と課題Ⅱ】

1 「かつの北限の桃」は、鹿角ブランドとして知名度がアップしてきているが、市場での評価をより高めるためには、生産技術の確立等、安定した産地形成に取り組むとともに、更なる生産拡大を図る必要がある。

2 「かつの牛」のブランド力はまだ発展途上であり、更なる需要拡大に結びつけるためには、より一層の認知度向上を図る必要がある。

3 鹿角地域には、桃や牛肉以外にも、訴求力のある“食”のブランドが数多くあるが、こうした“食”の消費拡大を図るためには、県内外でのイベント等を活用した魅力発信などの認知度向上に努める必要がある。

プロジェクトⅡ「 鹿角の“食”ブランドの磨き上げ 」

【拡】取組1 「かつの北限の桃」の生産拡大と販売促進

- 生産拡大と品質向上に向けた技術講習会等の開催
- 気象災害対策の現地実証

【拡】取組2 「かつの牛」の認知度向上と新たな魅力の発掘

- 認知度向上に向けた試食提供
- 地域特産品「松館しぼり大根」とのコラボによる新たな商品提案

【拡】取組3 鹿角の“食”のアピール強化

- 「チャレンジマルシェ」への出店、県外観光PR等との連携による魅力の発信
- “温泉”や“食”など「地域ならではの」優良コンテンツを核にした効果的な情報発信【再掲】

【市町村や各種団体等との協働】

鹿角市、小坂町、かつの商工会、かつの農業協同組合、秋田県畜産農業協同組合、鹿角果樹協会、かつの牛振興協議会、松館しぼり大根栽培組合

【本庁との連携・一体的な実施】

園芸振興課、畜産振興課、秋田うまいもの販売課、観光振興課

【見込まれる効果】

1 「かつの北限の桃」の生産量が拡大し、安定した高品質産地としての市場評価が高まることで、生産者の意欲が向上し、産地が活性化される。

2 「かつの牛」の認知度が上がることで、「地域ならではの」観光資源が増加し、観光客からの多様なニーズへの対応が可能となる。

3 イベント開催や継続した情報発信により、鹿角の“食”の魅力が幅広く周知され、消費拡大につながることで、地域産業としての成長に結びつく。

【目指す姿】 いつまでも住み続けたい魅力溢れるふるさと“かつの”

【現状と課題Ⅲ】

1 未来づくり協働プログラムについて、鹿角市は平成26年度で終了し、小坂町は平成28年度をもって終了となるが、プロジェクトの効果を一層引き出すためには、引き続き、事業のフォローアップをしていく必要がある。

2 人口減少、少子・高齢化が進む中で、地域社会のあり方が変化するとともに、雪対策や認知症など新たな課題が顕在化しつつあることから、地域で安全・安心に暮らせる仕組みづくりを進める必要がある。

プロジェクトⅢ「 誇れるふるさと“かつの”の魅力アップ 」

【新】取組1 鹿角市・小坂町「未来づくり協働プログラム」のフォローアップ

- 東山スポーツレクリエーションエリアへのスポーツ合宿の誘致とニーズ調査【鹿角市】
- トップアスリート等の招聘によるスポーツ講習会【鹿角市】

○地域内開催イベントと連携した「にぎわい」づくり【小坂町】

- 多彩な県外イベント等での触れ合いを通じた地域観光資源の魅力アピール【再掲】【小坂町】

【新】取組2 地域で安全・安心に暮らせる仕組みづくり

- 雪による死傷者ゼロを目指す啓発活動
- 認知症サポーターのためのフォローアップ研修

【市町村や各種団体等との協働】

鹿角市、小坂町、鹿角市体育協会、鹿角市教育委員会、かつの商工会、鹿角市社会福祉協議会、小坂町社会福祉協議会、東京美装興

【本庁との連携・一体的な実施】

スポーツ振興課、観光振興課、あきたびじょん室、地域活力創造課、長寿社会課

【見込まれる効果】

1 未来づくり協働プログラムの実施成果による交流人口の増加により、賑わいと活力に溢れる地域づくりが進展し、地域住民が「誇り」を持って、いつまでも住み続けたい『ふるさと“かつの”』の魅力がより一層増強される。

2 除排雪作業中の事故防止や認知症に対する理解が深まるなど、安全・安心な社会への意識が高まる。